

第4回臨時会 (5月25日)

■東オホーツク広域景観形成推進協議会の設立

平成21年3月26日に、東オホーツク7市町(網走市、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、大空町)の良好な広域景観を守り育て、未来の世代へ引き継いでゆく活動を推進するため協議会を設立しました。

平成21年度の取り組みは、北海道知事に対して「北海道景観条例」第13条に基づき東オホーツク広域景観形成推進地域の指定の申し出と地域指針策定等の検討を行うこととしていきます。

■美幌・津別地域季節労働者通年雇用促進支援協議会

平成19年8月に地域協議会が設立され、国や道との連携を図りながら、地域の季節労働者の通年雇用化に向けた取り組みを行い、平成20年度10人の方が通年雇用者として採用されたところであります。

■森の健康館の運営

指定管理者である(株)愛生の杜が、3月16日釧路地方裁判所北見支部に民事再生の申し立てを行い、受理され、3月30日には債権者説明会が行わ

れ、今後再生計画案が示され、これに対する裁判所の可否決定は本年10月頃とされております。町としても今後の推移を見守ってまいります。

■公立高等学校適正配置計画

津別高等学校の新入生は56人となり、通常の2間口が確保され、全校生徒159人で新学期がスタートしました。

特に今年度は、町内中学校からの進学が60%の34人となり、これまでの津別高等学校振興対策の成果が現れてきています。

また、卒業生の進路決定も、進学率は100%、就職等は88%になっており、津別高等学校の進路指導に対する保護者の期待感も強まっていると考えているところです。

しかし、管内生徒数については次年度以降も減少傾向で、高校存続に向けて予断を許さない状況で、今後とも小規模校としての特色を生かし、高校の存続に向けて振興・支援を行ってまいります。

■プレミアム商品券の販売

津別町商工会が、「定額給付金の支給」に合わせて4月24日と25日の2日間にわたり、町内5か所で25%のプレミアム付き商品券の販売を行ったところであり、準備した1千334組、総額2千1万

円相当の商品券は2日間すべて完売されるほど好評であり、5月14日現在で約40%が使用されたとの報告を受けています。

■定額給付金の申請書受理状況

2月1日基準日の給付対象者2千609人に対し、3月17日簡易書留にて申請案内を送付いたしましたところ、5月15日現在で2千544人、率にして97・51%の申請書を受理し、支払事務を進めています。

◎その他報告された事項

■寄附 ■人事異動 ■全国リコーダーコンテストの結果 ■交通安全推進運動 ■道路クリーン作戦 ■町民植樹祭 ■農作物の作付け及び生育状況

第5回定例会 (6月23日)

■第4回クリンソウまつり

新たな津別町の観光資源として町内外に広くPRするため、平成18年から津別観光協会主催により開催されてお

り、6月21日、上里町民の森で行われました。朝方の天候が不順だったこともあり、町民や近隣市町からの来場者は300人程にとどまりましたが、今年はずいぶん良い開花時期となり、可憐なピンクの花を堪能されました。



■「平和市長会議」への加盟

本年4月1日付けで同会議の会長であります広島市長から津別町の加盟認定証が届きました。「平和市長会議」とは、世界中の各都市が連帯し、友好及び親善を基調としながら、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、飢餓・貧困の諸問題や人権問題の解決、環境保護の為に努力し、もって世界の恒久平和に寄与しようとするものです。

本年1月に(株)広島平和文化センターから案内があり、趣旨に賛同、加盟の手続を行ったもので、6月1日現在、世界134の国、地域において2千926都市が加盟し、日本では292の市町村が加盟しております。なお、加盟による年会費

等の負担はありません。今後とも、世界恒久平和に対する活動に積極的に関わっていきたく思います。

■津別町殉公者追悼式

6月15日、あいにくの小雨模様でしたが、新緑が映える「平和の碑広場」におきまして、ご遺族、ご来賓、関係者83人のご臨席をいただき、厳粛のうちにあられし日の殉公者へのびつつ追悼式を行ったところであり、

■交通事故死ゼロ日運動

平成18年9月23日を起算日として、1千日を目標に取り組んでまいりましたが、6月18日にこれを達成することができ、関係者一同、次の目標に向けて気持ちを新たにしたいところであります。

次の目標を1千500日(達成日平成22年10月31日)とし、引き続きこの運動を展開するところであり、

◎その他報告された事項

■寄附 ■津別峠開き ■新型インフルエンザ対策 ■農作物の生育状況 ■建設工事等の発注状況



委員会活動

常任委員会
特別委員会

各常任委員会・特別委員会は議会の閉会中も委員会を開催し、所管事務について協議しています。

総務文教常任委員会

第4回（5月18日）

- ・職員の給与に関する条例の一部改正について
- ・税条例の一部改正について
- ・過疎地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について
- ・森の健康館の運営について

- ・津別高等学校振興対策について
- ・津別町特別支援教育連携協議会について

第5回（6月10日）

- ・固定資産評価員の選任について
- ・町内視察結果について



産業福祉常任委員会

第4回（5月19日）

- ・職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例等の一部改正について
- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金について
- ・地域情報通信基盤整備推進交付金について
- ・財産の取得について

- ・国民健康保険条例の一部改正について
- ・バイオマス利活用事業について

第5回（6月11日）

- ・町内視察結果について



議会運営委員会

第5回（5月21日）

- ・国民健康保険条例の一部改正について
- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金について
- ・地域活性化・公共投資臨時交付金について
- ・地域情報通信基盤整備推進交付金について

- ・第4回津別町議会臨時会の運営について
- ・農業委員会委員の推薦について

第6回（6月18日）

- ・第5回津別町議会定例会の運営について
- ・意見書の取り扱いについて

議会広報特別委員会

第3回（7月13日）

- ・議会報129号の編集について

議会日誌

5月

- 12日 管内町村議会議長会定期総会(上湧別町)
- 18日 総務文教常任委員会
- 19日 産業福祉常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 21日 管内総合開発期成会定期総会
支庁制度改革に係る地域意見交換会(北見市)
- 25日 第4回津別町議会臨時会

6月

- 4~5日 北海道町村議会議長会定期総会(札幌市)
- 10日 総務文教常任委員会
- 11日 産業福祉常任委員会
- 15日 管内総合開発期成会総務文教専門委員会(網走市)
- 18日 議会運営委員会
- 23~24日 第5回津別町議会定例会
- 30~1日 北海道町村議会議員研修会(札幌市)

7月

- 9日 斜網ブロック議長、副議長会議(斜里町)
- 13日 議会広報特別委員会
- 14~16日 産業福祉常任委員会道内視察

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

◆提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 外務大臣



意見書

関係行政庁へ
提出しました

地方財政の充実・強化を求める意見書

世界同時不況に端を発した経済状況は深刻の度を増しており、地域の雇用確保、社会保障の充実など、地域のセーフティネットとしての地方自治体が果たす役割はますます重要となっています。

とくに、地域経済と雇用対策の活性化が求められるなかで、介護・福祉施設の充実、農林水産業の振興、クリーンエネルギーの開発など、雇用確保と結びつけこれらの政策分野の充実・強化が求められています。2009年度予算では、当面の追加予算措置として「ふるさと雇用対策特別交付金」などの雇用対策交付金、地方交付税に「地域雇用推進費」などが盛り込まれましたが、これらの予算規模を地方財政計画・地方交付税措置に継続的に取り入れるなどの大胆な予算措置が必要です。

このため、2010年度の地方財政予算全体の規模拡大に向けて、政府に対策を求めます。

◆提出先 内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣 財務大臣 金融・経済財政政策担当大臣 経済産業大臣

2010年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国家負担制度の堅持と負担率二分の一還元、就学援助制度充実など教育予算の確保・拡充を求める意見書

◆提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣

はぐるま

—歯車—

先般北海道町村議会議員研修会にはじめて参加をした。全道から集まった約1千500人の議員は「住民自治時代の議会」と「どうなる日本の政治と経済」など講師の真剣且つユーモアあ

る舌鋒に感嘆。

最初に、「住民に聞いてみよう」の06年世論調査では満足していないが60%となっていると聞かされ、「住民自治時代の議会」とは何かを考えさせられた。住民に開かれた全体参加を促進し、首長とも切磋琢磨し、議会の存在意義である議員相互間の充実した討議とすみやかなる議決を重視することこそが地方議会の真髄であると考え。いわゆる小規模自治体では与党、野党関係は存在せず、監視と政策立案の役割を發揮しつつ、議員の質問に対する反問権がある議会が求められてくる。

今、新たな自治の形をつくるための「自治・議会基本条例」を検討する時期と今回の研修会で感じた。

(山内)